

阪南市市民協働事業提案制度平成30年度事業実施予定について

参考資料

事業の名称	団体名称	事業担当課	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				実績	実績	予定
1 放課後の子どもの居場所事業	特定非営利活動法人 子どもNPOはらっぱ	生涯学習推進室	子どもたちがありのままの自分でいられ、休息を取り戻し、自由に友だちと遊び、安心して人間関係を作りあうことができる「子どもの居場所」を地域に確保し、存続させることも目的として、平日の放課後、3会場において実施する。	・ふれあいホーム(毎月水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年53回実施 ・地域交流館(毎月水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年54回実施 ・西鳥取会場(毎月金曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年54回実施 ・3会場全体交流会年6回実施(長期休業中3回)	・ふれあいホーム(毎月水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年53回実施予定 ・地域交流館(毎月水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年54回実施予定 ・西鳥取会場(毎月金曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年51回予定 ・3会場全体交流会年6回実施予定(長期休業中3回)	・ふれあいホーム(毎月水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年64回実施予定(不登校児童の支援として、9回午前中に実施) ・地域交流館(毎月水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年53回実施予定 ・西鳥取会場(毎月金曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年51回予定 ・3会場全体交流会年6回実施予定(長期休業中4回)
2 阪南市フレンドシップコンサート	阪南市吹奏楽団	学校教育課	市内中学校の吹奏楽部への技術支援を通して、教育環境の活性化と青少年の健全育成を行う。文化センターでの大規模なコンサートだけでなく、地域や学校で現在行われている吹奏楽部のコンサートでの阪南吹奏楽団との合同演奏も視野にいれ、地域に根差した音楽のあるまちづくりをめざす。	・活動支援 鳥取東中学校 7月(1回) 貝掛中学校 6月(3回)、7月(1回) 飯の峯中学校 7月(1回)、12月(1回) ・合同演奏会 12月17日(土) 桃の木台光のページェント祭り	・活動支援 鳥取東中学校 7月(1回) 貝掛中学校 7月(2回)、8月(1回)、9月(1回) 飯の峯中学校 7月(1回) ・合同演奏会 12月16日(土) 桃の木台光のページェント祭り	学校からの要請を受けて実施。 合同コンサートについては、団体と学校の日程調整等が合わず実現が難しいため、技術支援という形での事業展開。
3 男里川水系一斉清掃行動	男里川水系環境保全活動実行委員会	土木管理室	男里川水系の環境保全を学習するため、阪南市の地域の皆さんと男里川水系環境保全活動実行委員会や大阪府、阪南市の関係機関が協力して、1年間を通じて、「水辺の観察会」や「水辺の学校活動」、また「環境・美化啓発ポスター募集」や「男里川(山中川・うど川)水系の清掃活動」などを実施する。	8月11日 夏休みの親子の水生物観察会 9月13、20日 男里川水辺の学校(台風のため中止) 12月 環境・美化啓発ポスター展示(151展) 2月18日 男里川水系の一斉清掃活動(200人)	7月～ 環境美化ポスター募集(夏休み終了まで) 8月上旬 夏休みの親子の水生物観察会 9月 男里川水辺の学校 11月 環境・美化啓発ポスター展示(約200人)・販売 2月17日 男里川水系の一斉清掃活動(204人)	7月～ 環境美化ポスター募集(夏休み終了まで) 8月上旬 夏休みの親子の水生物観察会 9月 男里川水辺の学校 11月 環境・美化啓発ポスター展示・販売 2月 男里川水系の一斉清掃活動
4 はなていかレッジ	特定非営利活動法人 阪南まちづくり推進ネット	地域まちづくり支援課	市民が共に学び、市民力、行政力のレベルアップを目指すだけでなく「協働のまちづくりの担い手」を増やし、また、「協働のまちづくり」を効果的に推進することを目的とした講座を開催する。	第1回 阪南市で見られる海岸植物～残したい貴重な自然と植物～ 第2回 地域交流を育むまちライブラリー 第3回 「土佐日記」のふなたび～泉州地方を中心に 第4回 阪南市の無形文化財～鉦講・盆踊り～ 第5回 音楽を通して人づくり、まちづくり 第6回 将来の生活と設計とマネープラン 第7回 まちづくり活動実勢発表&交流会 第8回 まちづくりは、身近な地域づくりから～地域の課題を解決するために～ 第9回 交流会 参加者 409人	第1回 災害に備えるために学びませんか！～浜口梧陵の偉業を通して～ 第2回 減災を学ぶ～震災体験談を交えて～ 第3回 歩いて健康体験講座 第4回 ひきこもり支援から見た今の若者像 第5回 人と人の絆を育む～子ども・シニアの居場所づくり～ 第6回 地域で幸せに暮らすために支え合う仕組みづくりとは…～増進型のまちづくり～ 第7回 みんなでつくろう地域まちづくり～市民&市職員交流会～ 参加者 262人	市民協働事業提案制度から形を変えた事業となる。生涯学習関連施設等との連携を図り、各施設や市民活動団体が連携した講座を行い、市民の皆さんに学びの機会を提供する。
5 子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル(円卓会議)事業	特定非営利活動法人 子どもNPOはらっぱ	学校教育課	子どもたちが安全・安心に暮らせる、笑顔あふれるまちづくりを実現するために、行政との情報共有の関係づくりをすることで、子どもの現状や子どもの周りで起きている問題・社会課題の解決を図っていく。	・学期ごとにラウンドテーブルを開催(提案団体、学校教育課、生涯学習推進室、こども家庭課) 平成28年7月13日(水) 平成28年12月16日(金) 平成29年3月8日(水) 上記の他、毎月、提案団体と各担当課で情報共有	・ラウンドテーブルを開催(提案団体、学校教育課、生涯学習推進室、こども家庭課) 平成30年1月15日(月) 平成30年3月19日(月) 今年度は、調整がつかず、学期ごとに実施できなかった。	学期ごとの開催を目指す。
6 箱の浦から始まる高齢者・一人暮らしのランチハウスの開設	箱の浦自治会まちづくり協議会	介護保険課	近年の高齢化は、想像より早く、各地域では高齢者問題が提起されており、食事の在り方が、高齢者の健康に大きく作用していることから、健康維持の面からも公民協働で、空き家を借りて「ランチハウス」を開設し、昼食会を実施し阪南市に広めていく。	月2～3回実施(第2・3・4水曜日) ・食事前は健口体操、食後は脳トレ、歌、ゲームなどで楽しむ。 参加数 約600人	月2～3回実施(第2・3・4水曜日) ・食事前は健口体操、食後は脳トレ、歌、ゲームなどで楽しむ。 参加数 約600人 ・東京首都大学・他市からも多数視察。 ・平成29年度「あしたのまち・くらしづくり活動賞」(主催・公益財団法人あしたの日本を創る協会・NHK・読売新聞東京本社)で主催者賞を受賞。 ・一般財団法人南都経済研究所から取材があり、「ナント経済月報6月号」に掲載。	・週3回のおしゃべりサロン、週1回のランチハウス及びモーニングサロンの実施。 ・食事前は健口体操、食後は脳トレ、歌、ゲームなどで楽しむ。 上記、事業に介護予防・日常生活支援総合事業における住民主体型サービス加え、事業を拡大する。
7 本のリサイクル関連事業	本のリサイクル運営委員会	図書館	現在、年3回行っている図書館主催の除籍資料を活用する「本のリサイクル事業」を市民協働事業として実施することで、開催頻度の拡大を求める市民ニーズを解決し、廃品となる本を減らす。また、事業実施団体はリサイクル本を有償で売却し、その収益を公共の福祉に使用するとともに、リサイクル事業の場を新たな市民交流・市民活動の場とする。		・月に1回「本のリサイクル運営委員会」を開催。 ・リサイクル事業開催場所は、当初予定のサラダホール2階ではなく、1階レストラン跡に変更し、名称は「リサイクルブック“つながり”」となった。 ・書架・ブックラック等の物品を購入した。 ・9月16日(土)にオープニングセレモニーを開催。 ・以後毎週土曜日の午前10時～12時、午後1時～3時に「リサイクルブック“つながり”」を開店し、除籍本・寄贈本を販売している。	・毎週土曜日の午前10時～12時、午後1時～3時に「リサイクルブック“つながり”」を開催に加えて、文化センターのイベントに併せ、臨時開催日を設定。 ・事業の自主運営(収益を運営費用に充てる) ・本を中心とした交流会等、市民交流の場の開催を検討。